



国土交通省 航空局  
HP掲載管理 講習団体  
技能認証発行  
DPCA認定

# DRONE フライト オペレーター講習

DRONE FLIGHT OPERATOR



— ドローン運用に必要な知識と操縦技術を基礎から学べます —

## DRONEフライトオペレーター講習とは？

この講習カリキュラムは目視外飛行・自動航行・側面・対面飛行・安全運航管理・撮影方法の教習内容を標準化し、2022年のライセンス制度化を見据え、レベル4※1に対応する人材育成を行う内容です。また、管理団体DPCAはこれまでに消防庁をはじめとした36の自治体・官公庁との間にドローンによる災害時運用協定を締結し、連携するなかで多くの自治体職員関係者にも受講いただき、2021年6月1日時点の修了者は6,000名以上を輩出。多数存在するドローン講習の中でもDRONEフライトオペレーター講習会は信頼と実績を備えたドローン講習会です。

※1 国が実現を目指す「無人航空機の有人地帯における目視外飛行のこと。」

## 2022年ドローン操縦技能が国家資格に！

2022年以降、政府は学科・実地試験を実施し、操縦者の技能証明を行う制度が始まります。都心上空など第三者上空飛行に対応する「一等資格」と、その他の「二等資格」に区分し、機体の種類や目視外飛行、夜間飛行など飛行方法に応じて限定を付します。その中で、政府の登録を受けた民間講習機関が実施する講習を修了した場合、試験の一部又は全部を免除すると公表しました。国内トップクラスの講習団体管理数を有するDPCAが管理・認定するDRONEフライトオペレーター講習はその対象になる得る講習会と言えます。ぜひ他、様々なドローンスクールと比較して受講を検討してください。

受講生募集

## DRONEフライトオペレーター講習を選ぶ3つのメリット

### 1 レベル4を見据えた先進的カリキュラムを採用！

新たな講習カリキュラムでは実技講習において目視外飛行・自動航行・側面・対面・撮影・安全運航管理についての教習内容を標準化し、レベル4に対応する人材育成環境を整備します。基準を全てクリアした方には国土交通省航空局へ飛行許可申請を行う際に手続きが一部簡略化される技能認証を発行いたします。

### 2 eラーニングを通じていつでもどこでも好きな時に座学が受講できる！

日頃お仕事などでなかなか受講時間の確保が困難な方にも、場所を選ばずに学ぶことができます。ドローンの概要や法律、電波や気象などそれぞれの項目を各専門分野の講師が分かりやすく解説します。ドローンに関する知識を確実に習得し、習熟度を証明するための確認テストをご用意しています。

### 3 運用に必須の撮影方法について学べる！！

ドローンが持つ最大の価値は撮影を通じて情報を収集すること。映画やCM撮影など現場での運用経験が豊富なオペレーターがこれまで培ったドローン撮影を行う際のポイントやレンズの選び方、最適な動画撮影設定、観る人を惹きつけるカメラワークなどを事例を交えて分かりやすくお伝えします。

## 修了者数 国内トップクラス 6,000名超え！！



### 豊富な講習開催実績

京都府／京都市／京都府警察／京都市消防／神戸市／高知県土佐清水市／国立研究開発法人 土木研究所／兵庫県／加古川市消防本部／茨城県建設技術公社／相模中部消防本部／国土交通省 近畿技術事務所／阪神高速株式会社／京都大学／国際協力機構(JICA)／関西電力株式会社／株式会社オプテージ／栃木県建設業協会／中部電力株式会社／福岡市港湾局／積水ハウス株式会社／パソナ・パナソニック株式会社／九州ドローンコンソーシアム／京都トヨタ株式会社／天草消防広域連合／大阪芸術大学／清水建設株式会社 その他自治体・企業多数 受講実績 ※2021年6月1日時点修了者6,000名以上





# DPCA認定 DRONE フライトオペレーター 講習

## どこで学ぶかより誰から学ぶのか？

2021年6月現在、技能認証を発行する講習団体数は全体で1076。

全国でドローンスクールが展開されています。そのような状況の中、運用方法を学びたくてもどこで受講すれば良いか迷いも生じると思います。

その時に受講の判断材料としてほしいことは、「どこで学ぶか？」ではなく「誰から学ぶのか？」

DRONEフライトオペレーター講習で指導する講師陣は管理団体DPCAで厳格な検定試験をクリアし、業務運用実績が豊富なオペレーターが務めます。

あなたが求めているドローンの運用知識をこのDRONEフライトオペレーター講習で習得しませんか？

## 2つのコースから選べる！



まずは基本的な操縦スキルを身につけたいという方に向けたプログラム

check!



目視外飛行や夜間飛行など、応用操縦スキルを習得し業務に活かしたいという方に向けたプログラム

check!

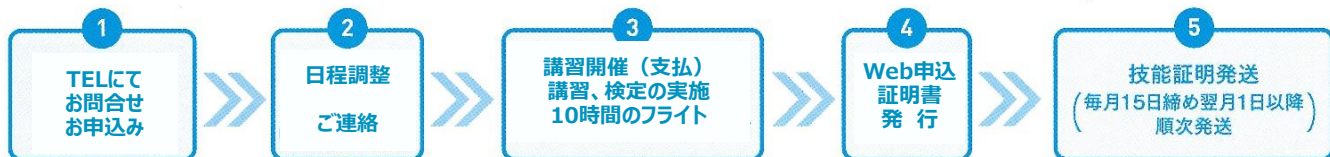


内容	DRONEフライトオペレーター BASICコース	DRONEフライトオペレーター ADVANCEコース
受講金額	50,000円(税込55,000円)	90,000円(税込99,000円)
実技受講日数	1日	2日
実施内容	基本的な操縦技量の習得	業務を実施するために必要な操縦技量の習得
発行技能認証 種類	日中目視範囲内に限る	DID・30m以内 / 日中目視範囲内・外 / 夜間飛行
操縦技能認証発行費用	15,000円(税込16,500円)	
eラーニング受講		○
目視外/夜間飛行 操縦訓練	×	○
すでにBASICを受講し 実技2日目のみ受講希望	—	可能 受講費40,000円(税込44,000円) 技能認証発行費 5,000円(税込5,500円)

オススメ

## お申し込みから技能認証発行までの流れ

※最小開催人数3名より/8名以上団体割引あり



## よくある質問 Q&A

Q,1 初心者でも受講できますか？

△実技講習時コーチモードで実施し、受講者が万が一危険な操作に陥った場合、すぐにインストラクターが操作介入し安全位置に機体を誘導します。この講習体制により初心者の方にも安心して、安全にドローン操作を行っていただくことが可能です。

Q,2 どのような方が受講されていますか？

△企業の社員様、官公庁職員様、趣味で運用されている方が多いです。2016年の講習会開始から現在までの総修了者数は6,000名を超えます。(2021.6.1現在)

Q,3 ドローンの購入は必要ですか？

△実技講習会では機体を用意しますので、事前に購入いただく必要はありません。

Q,4 実技検定試験に不合格となった場合は？

△再検定試験を受けていただくことができます。

Q,5 何歳から受講できますか？

△16歳以上を対象としています。

講習運営・プログラム管理 国土交通省 航空局 HP掲載管理団体 (一社) DPCA

地域再生・防災ドローン利活用推進協会 (RUSEA) 愛知第3支部

中部精機株式会社 新規事業推進室 ドローン担当

TEL ; 080-3552-4455 MAIL ; drone-info@chubuseiki.co.jp



地域再生・防災ドローン  
利活用推進協会



CHUBUSEIKI